

令和6年度 第2回学校運営協議会

## 0. 開会に先立ち

コロナ禍で行われていなかった2泊3日の韓国研修をおこない、生徒8名が参加しデソンイル高校との交流をした。対人関係が苦手な生徒もいたが、韓国で楽しむことができていた。10月23日にはデソンイル高校が来日して交流する予定。姉妹校提携を結んでいるが、閉校の後どうなるかを心配されている。今後も何らかの形で交流を継続していきたい。

## 1. 学校長挨拶

閉校を迎えるにあたって、ネガティブな面は生徒からはあまり感じず、人数が少ない分アットホームな雰囲気が学校の中にある。現在は文化祭の準備をがんばっている。

## 2. 委員

- A 大学教授（会長）
- B 障がい者福祉サービスの施設長（副会長）
- C 松原市内中学校校長
- D 松原市内小学校校長
- E 中小企業家同友会南東部ブロックより
- F PTA会長

※ 委員C、D、E、Fは書面による参加

## 3. 学年、分掌より

### <3学年主任>

- ・現在91名の在籍。進路変更を考えている生徒が数名いる。学年の教員が精力的に動いて情報共有し、学年内外と連携して仕事にあたっている。
- ・精神面の不安定さからなかなか学校に来られないなど、さまざまな課題を抱えている生徒に対して、それぞれに必要な支援をおこなっている。
- ・支援員と協力して書類や提出物の整理をしている。
- ・追認補習については順調とは言えず、卒業が危ぶまれる生徒が数名いる。教務的な視点、主任的な視点から説諭をして卒業まで導きたい。
- ・体育大会では、どの団もよくがんばっていて、団の垣根を超えたチームワークが見られたことが嬉しかった。
- ・就職講座、進学講座をしっかり受けて進路決定に臨んだが、進路が決まっていない生徒への支援、アプローチが必要。就職に関しては19名が合格、7名が不合格。印象としては欠席数などの数字だけで判断されず、人間性を加味して合否の判断をしていただいている。

### <2学年主任>

- ・現在93名の在籍。今年度5名が進路変更をした。欠席遅刻数は多い。
- ・生徒指導面でめだつ生徒が進路変更をし、今まであまりめだたなかった生徒の課題が見えてきた。
- ・体育大会は3年生と協力して盛り上げることができた。文化祭に向けての準備も頑張っている。
- ・平野高校として最後の修学旅行を来月に迎える。
- ・学習面でしんどさを抱える生徒が多い。観点別評価になったことで、課題に地道に取り組める生徒には有利になっている。
- ・学年間で細かい情報共有ができるようになってきている。

<学年からの説明に対する意見、質問>

委員：体育大会は縦割りか

教員：3団の縦割りである

委員：説明にあった通り、アットホームな雰囲気があることを感じる。精神的なしんどさを抱える生徒について、3年生になってからのきっかけはあるのか。

教員：しっかりしないといけないという意識が強すぎることや、休日にリフレッシュできないことが原因だと考えられる。もともと中学校時に不登校であったことも原因の一つだと考えられる。

委員：欠席が多い生徒について学生の間は許されても社会に出れば許されないことである。社会に出るうえでなにかそういったところを指導できれば。

教員：社会に出ればそんなに甘くないということを指導していきたい。

委員：韓国研修は希望制か？

教員：希望制である。コミュニケーションが苦手な生徒も自ら行きたいと希望していた。韓国の研修中、教員はあまり手をかけすぎないようにしていた。韓国の生徒とも自分たちで積極的に交流していた。

委員：韓国研修に参加した生徒は選考をしたのか？

教員：選考せずにおすすめ程度の人数であった。

<教務>

・デジタル採点が採用されて2年めである。多くの教員が利用していて効率的である。

<進路指導部>

・2年生に対しては進路ガイダンスを実施し、3年生に関しては進学、就職講座を通して進路実現に向けて活動している。

・専門学校を受験した生徒の中で、動物関係の学校に関して厳しい結果が返ってくる生徒が例年に比べて多かった。問い合わせてみると倍率が非常に上がっているらしい。

・求人票をデジタルで管理したが、保護者とのやり取りを考えると紙ベースも必要である。

<生徒会>

・体育大会はスムーズに無事に終わることができた。

・文化祭はキッチンカー5店舗に来ていただく予定。

・次年度の行事をどう進めていくのが課題。

・部活動は在籍人数の減少に伴い部員数は少ないが、精力的に活動している部活動もある。

<生徒指導部>

・全体的な雰囲気としては落ち着いているが、活力が足りない場面もある。良くも悪くも1年生が入ってきていない影響であると考えられる。

・遅刻数は非常に多く、過去と比べて保護者の呼び出しに対する危機感が薄れてきているように感じる。

・欠席も少し多く、テストを休む生徒も例年に比べて増えている気がする。

<保健部>

・担任が多くの声掛けをしてくれているおかげで、検診関係の追いかかけが非常にスムーズに進んでいる。

・校内のゴミ拾いをしても例年よりゴミは落ちていない。生徒数の減少の影響もあるだろうが、多くの先生が掃除をしてくれているおかげでもある。

・火事の避難訓練や、880万人訓練に合わせた避難訓練をおこなっている。

<分掌からの説明に対する意見、質問>

委員：進路希望の内訳は？

教員：就職希望が38名、大学希望が12,3名、専門学校希望が28名。最初からフリーター希望の生徒が数名いるが、保護者と話したうえで、理由があってそういった進路を取ることに決めている。

委員：希望職種の傾向は？

教員：製造、介護、販売、事務を希望する生徒が多い。

委員：生徒はどういうふう就職先を決めているのか。

教員：ありがたいことに求人票を1000件以上いただいており、その中から生徒が自分でどこにいきたいかを考えていることが多い。

委員：昨年度は最終的に進路が決まったのか？

教員：二次、三次で決まった生徒もいるが、フリーターになった生徒もいる。

委員：就職選考で不合格になっているのはどんな理由か？

教員：主な原因としては欠席日数とコミュニケーション能力だと聞いている。

委員：境界線上の生徒はどれぐらい？

教員：半分ぐらいは境界線上にいる感覚。

委員：弊社で働いている生徒で、少し困り感を抱えている生徒が検査を受けて手帳を取得した人もいる。ただ、取ったところで何かあるわけではない。

委員：卒業してからは手帳を取りにくい。できるだけ在籍中に取りの方が良い。

教員：手帳取得に向けてアプローチするが、保護者が拒否することもある。

委員：生徒会の選挙について、18歳で選挙権を得ることや選挙への関心についてなにか工夫していることはあるか。

教員：生徒会選挙を、選管から用具を借りて実際の投票の形でおこなうことや、公共の授業の中で学んでいる。

## 6. まとめ

生徒数が少なくなったことのメリットをどういかしていくのかが大事である。教員数が減る中で難しさはあるが、人数が少ないからこそできることに目を向けてほしい。大学生にも、なかなか大学に来られない生徒もいる。一人の生徒に細かく手をかけることが大学では難しいが、高校ではぜひ細かな支援、指導をおこなっていただきたい。

## 7. その他

次回は1月22日（水）におこなう予定。